

# 太陽を見るとくしゃみ

がいるのはなぜ？

■ 兵庫県野田あさみさん

# A

これは脳が勘違いして出てしまうくしゃみで、体质的なもの。まぶしさを感知した脳が顔の神経に働きかけて、鼻みずが出かかったときのような感覚を起<sub>こ</sub>すため、くしゃみが出てしまうのです。

映画館など暗い場所から外に出たとき、急に明るい光を受け

てくしゃみをしてしまう。あなたのもわりにもこんな人はいませんか？ これは太陽の光が鼻の粘膜を直接刺激するからなのかなと思いや、じつはそうではないんです。

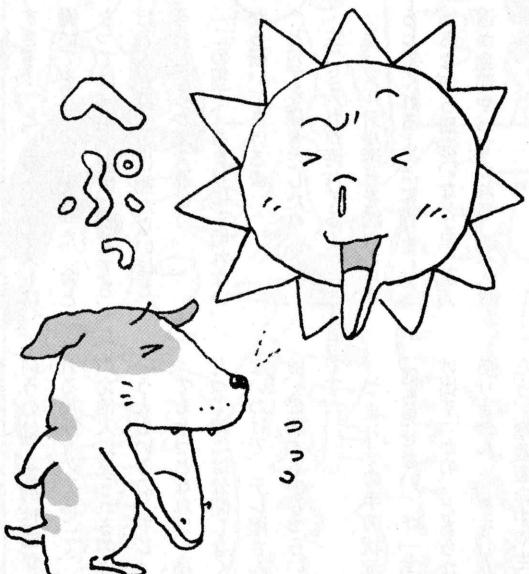
人間はふつう、太陽の光を見てまぶしさを感じると瞳孔<sup>(どうこう)</sup>が縮まります。これは中脳から目に働きかけられる反射作用。まぶしいときにくしゃみが出かかったときは、鼻みずや涙を出す指令。そのため鼻みずが出かかったときのように鼻がムズツとして、くしゃみが出てしまうのです。つまり、一度は脳が送った信号にもかかわらず、「鼻の中に異物が入つた」と脳自体が勘違いして、くしゃみが出てしまうというわけ。物理的な反応ではないので、くしゃみの回数は1回、多くても2回なんですって。この反応は太陽に限らず、室

内の蛍光灯でも起きるんです。

夜、外出先から帰ってきて、部屋の明かりをつけたときがその

一例。くしゃみが出来る光の強さには個人差があるせいもあって、自分がその体质を持っていることに気がついていない人も多いそう。じつは4人に1人はこの体质を持っているという報告もあるんですって。

また、この体质は遺伝するとも考えられていて、全員が光に反応してくしゃみが出ちゃう一家もいるとか。光反応でくしゃみが出るのは人間ばかりではなく、猫もあるそうです。



取材・文／木南繪里

取材協力／鹿児島大学大学院教授・口岩聰さん 名古屋外国语大学助教授・副島一郎さん